

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 5日

事業所名 ぽかぽか広場足利

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8 100%			広い部屋を有効に使用し鬼ごっこやボール遊び等で体を動かしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	8 100%				・体調不良などによる欠員が出た際は他の事業所からヘルプを要請し対応している。 ・基準人員以上の職員を配置しているが、利用者の特性によってはさらに人員がいるとよいなと思うこともある。職員間の連携を強化したりスキルアップを図れるようにする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8 100%				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8 100%				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8 100%			保護者からの要望や意見は積極的に取り入れ、支援を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8 100%				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7 87.5%	1 12.5%			・各事業所の管理者は他の事業所の社長と研修としてお話しする機会があり、その際に現場の悩み等を相談し、アドバイスをいただくことが出来ている。 ・外部評価に関して知らない職員も多いため管理者を中心に話をあおろしていけるよう努める。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8 100%			外部の研修制度を用いて、専門的な研修を受けている。	様々な角度から、より良い支援に繋がる知識を学び、日々の活動に生かしていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8 100%				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7 87.5%	1 12.5%			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7 87.5%	1 12.5%		職員同士で案を出し合い、様々なプログラムを計画している。	・職員からの意見を取り入れようと思いがけるが、職員により差がある。その差を埋められるように、また積極的な姿勢で業務にあたるように職員のモチベーションを管理者が管理できるように努める。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7 87.5%	1 12.5%			子どもたちが飽きないように、週レクを決めて活動したり、様々な経験のできるプログラムを行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7 87.5%		1 12.5%	毎回、参加しやすいイベントを計画し、楽しめるようにしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8 100%				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8 100%				毎日、朝、昼、終業時にミーティングを行い、その都度、情報の共有をして適切な支援が行えるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8 100%				終業時のミーティングでは、その日の支援の内容等を共有し、記録に残して振り返りができるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7 87.5%	1 12.5%		その日の利用時の状況と支援目標の達成具合を記録して残している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8 100%				
関係機関 や保護者 との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8 100%				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8 100%				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8 100%				学校等の教育機関にも、事業所から積極的に連絡をとり、情報の共有をできるように努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					医療的ケアが必要なお子様の受け入れはしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7 87.5%	1 12.5%			何か問題が発生した場合に、すぐに連絡がとれるような体制を作っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7 87.5%	1 12.5%			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7 87.5%	1 12.5%			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7 87.5%	1 12.5%			児童館や近所の公園などで地域のお子様と交流する機会もある。今後はより積極的に取り入れていきたいと感じる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7 87.5%	1 12.5%			外部の部会などの案内があれば情報収集の手段として職員にもアナウンスし積極的に参加を促している。参加した職員だけでなく他の職員にもしっかりとフィードバックしていきたいと思う。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7 87.5%	1 12.5%		日々の送迎時に、当日の様子などを詳しく伝え、保護者からの希望等もよく聞かせてもらうようになっている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7 87.5%	1 12.5%			・職員により差があるためプロとしての自覚をより持っていけるようにする。 ・傾聴の姿勢を大切に気持ちに共感し、出来るだけ寄り添えるよう努めている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8 100%				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8 100%				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6 75%	2 25%			年に1回イベント時に、親子で参加できるプログラムを考え、保護者の方同士での交流を持てるようにしている。回数が少ないので保護者の方のご負担にならないよう検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8 100%				日々の支援の中で、報告、連絡、相談を徹底し、何かあった時には、すぐに管理者に報告をして、対策。対応を検討している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8 100%				月に一度、通信を配布し、週に一度ブログを更新することで、日々の活動の様子を伝えるようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8 100%				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8 100%			日々の様子を、口頭のみではなく、文章や、写真等でもお伝えしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6 75%	2 25%			・イベントで近隣の公園や施設などを利用し、地域に溶け込めるよう工夫している。地域に根付いた事業所運営を目指していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7 87.5%	1 12.5%		マニュアルは会社として整備されており、職員にも入社時に研修として話をする体制を整えている。	保護者の方への周知はまだ工夫できると思うので検討していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8 100%				定期的に消防署などにも連絡をして、必要な訓練をおこなっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8 100%				職員全体で、同じ研修を受けて、情報を共有し、同じ認識をもてるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8 100%				学校や保護者の方と細やかに連絡を取り合い、緊急時に、やむを得ず身体拘束を行う場合について、慎重に意見を求めながら、十分な説明を行い、必ず保護者の方の了解を受け、書面にも残すようになっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7 87.5%	1 12.5%			アレルギー対応一覧をそれぞれの事業所で貼りだし、職員間で共有している。医師の指示書ではなく保護者の方から口頭で聞くことが多いためより具体的な内容を知りたいときは指示書の提出等も検討していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8 100%				ヒヤリハットが発生した時には、職員間で必ず共有して、書面にも残すようになっている。